

1 顧問校長挨拶 浜松市立新津小学校 松山 徹校長先生

新年度が始まり、学級、学年開き、教職員の人間関係作りなどに心を配っている時期だと思う。

人は不平等であると感じることがある。家庭の事情で親と暮らせない子供がいる。子供の人権という観点からみれば、親と一緒に暮らしているほうが、人権が守られていると言える。しかし、親に養育力がなく、子供の生活に支障が出てくると、必ずしも親と暮らすことが幸せであるとは言えない。人は不平等であるが、どんな環境であっても、たくましくよりよく生きていってほしい。

部長から本年度の研修テーマを発表してもらおうが、学級や学校で様々な実践を行い、研修会で交流することで人権教育の理解を深めていってほしい。今日は人権啓発センターから講師をお二人お招きしているので、浜松市の人権にはどんな課題があるか意識を高める研修会にしてほしい。

2 講話1 「第2次 浜松市人権施策推進計画について」

講話 浜松市人権啓発センター所長 中村 英克 様

人権啓発には時間をかけて取り組んでいく必要があると言われる。人権啓発センターでは、今後も人権啓発、人権教育を推進していく。学校とも連携して取り組んでいきたい。

講話2 「人権啓発センターの具体的な取り組み」

講師 浜松市人権啓発センター 渥美 竜三 様

浜松市人権啓発センターは、演習病院のクリエート浜松1階の東側にある。人権にかかわる様々な活動をしている。

浜松市人権条例には、人種、国籍、民族など、知り得た個人情報は許可なしに公表してはいけないという内容が書かれている。これは日常生活の中ですべての人に関わってくることである。人権教育及び人権啓発の推進に関する法律は、国や地方公共団体には人権を守る責務があると示されている。「第4次浜松市人権施策推進計画」もこの法律と一致した内容となっている。重点的な取り組みの中には、学校における人権教育も示されている。



本センターの取り組みで、学校と関わるものは、以下のものがある。

- 1 人権教育指導者研修会…教職員が人権について学ぶ場を、市職員と連携して計画している。
- 2 出前講座…教職員、PTA、児童生徒を対象に、人権について詳しく知る講座を行っている。
- 3 研修図書の貸し出し…児童虐待やいじめなどのテーマで、様々なDVDの貸し出しを行っている。
- 4 地域ふれあい講座…家庭における人権意識の向上を目的として、36年間続いている。
- 5 人権啓発資料・絵本・DVD等の作成・配布…様々なテーマの人権啓発DVDを制作している。

3 人権教育部 運営組織

4 今年度の研究テーマ「人権意識の広がり と参加体験型人権学習の推進」